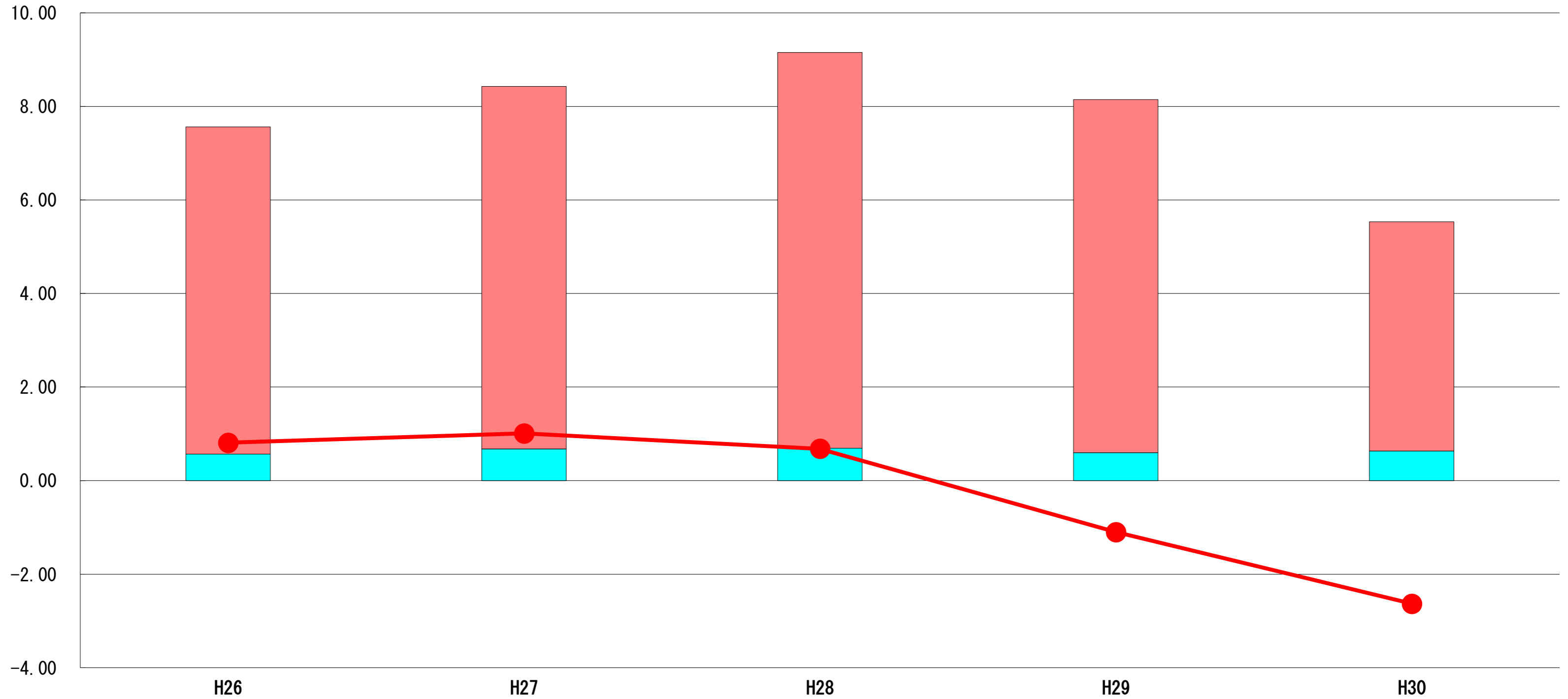


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）




平成30年度

愛媛県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30
 財政調整基金残高		6.99	7.75	8.46	7.55	4.90
 実質収支額		0.57	0.68	0.69	0.60	0.63
 実質単年度収支		0.81	1.01	0.68	▲ 1.10	▲ 2.63

## 分析欄

歳入面では県税や国庫支出金の増等により増加し、歳出面では公債費等の減があるものの、社会保障関係経費や西日本豪雨災害対応の経費の増等により全体として増加した結果、実質収支としては前年度より増となったが、30年度は財政調整基金を取り崩したため、実質単年度収支は赤字となった。

また、財政健全化基本方針（H23～R4）に基づき、職員定員の適正化による人件費の抑制や事務事業の見直し、自主財源の確保など歳入歳出両面にわたる徹底した見直しを行ってきたが、西日本豪雨災害への対応のため大幅に取り崩したことにより、財政調整基金の残高は30年度決算に向けた目標の430億円を下回る352億円となった。